

経営改善を検討しています。

定住対策

・Uターン者の定住促進のために造成した住宅地の売却促進を図ります。また、町内就職、定住者に対する奨励金制度を引き続き実施し、定住促進に努めます。

また、昨年引き続き国の交付金と過疎債適用を利用した、空き家活用事業に取り組み、将来の奥出雲町を担う若者や・Uターン者の定住促進を図ります。

二、生活基盤整備

道路網の整備

国道四三二号は、亀高町から亀高駅方面について、引き続き工事が進められます。

また、主要地方道については、上阿井八川線の大馬木地内旭工区、横田多里線は、大馬木地内の街路工事と稲原地区の改良工事が引き続き実施されます。

一般国道については、印賀横田線の万丈工区も継続施工、また、木次横田線については、土屋から郡間において、一・五車線改良として継続的に工

事が進められます。

町道については、交付金事業の三沢山根線の尾白工区、八代三沢線、佐白北原線を継続実施します。

町単独事業としては、ダム関連の三津田大畑線、玉雲寺・上布施線をはじめ、川東雲崎線、見寄中田線を継続施工します。

また休止していた、郡三成線、川西五反田線の改良工事を再開、新規事業として、亀高地区塩原郡線大内原橋の架け替えの調査、馬木地区川東下垣内線の新規路線開設のための調査を開始します。

次に、県事業である通常砂防工事は、五の畑川において継続実施されます。

地すべり対策工事としては、鞍掛地区、上鴨倉地区が、また、雪崩対策事業として、大馬木地内の反保地区がそれぞれ継続施工され、急傾斜対策事業では、亀高地内の谷奥地区が継続施工される予定です。

尾原ダム建設事業

ダム本体の堤体工事が進められていますが、平成二十二年三月末には完成し、試験湛水が開始される予定です。



工事が着手と進む尾原ダム(ダム本体下流部から)

また、付け替え道路として引き続き佐々木線をはじめ、各路線が国土交通省の直轄事業として計画的に進められる予定です。

ダム湖周辺整備については、尾原ダム地域づくり活性化研究会を中心として、国土交通省、島根県、地元等関係機関と調整を図り、ダム湖周辺の活性化を図れるよう努めます。

竹崎地区が実施の予定です。

地すべり対策事業として、仁多地区第二期と農道環境整備事業として大仁農道の改修が継続実施されます。

情報通信基盤整備

平成十九年度に町内全戸に光ケーブルを引き込むFTTH網が完成し、今年一月からテレビ電話システムを活用した、高齢者等の生活支援が行われています。

現在、このテレビ電話を遠隔医療にも活用できるように、また、全国的にもあまり例のない高度情報通信基盤をさらに有効活用するため、コールセンター業者の進出についても検討しています。

また、携帯電話の不感地域解消については、移動通信用鉄塔間の光ケーブルの貸与など、町の経費負担等も含めて各携帯電話事業者と協議し、更なる通信エリアの拡大を図ります。

なお、平成二十一年度においては、内谷地域に続き、船通山地域に新たに町が鉄塔を建設し、携帯電話事業者に貸与する方法で通信エリアの拡大を図る予定です。

三、安全で快適な町づくり

消防施設の整備

平成二十年度三成分団へポンプ自動車一台を配置し、平成二十一年度は、三沢分団へ最新鋭のポンプ自動車の導入を計画しています。

また、消防団全員の作業服を更新し、貸与する予定です。なお、本年大田市で開催される、島根県消防操法大会には、馬木分団が「ポンプ車の部」、三成分団が「小型ポンプの部」に出場することとなり、昨年に続く獲得を期待しているところです。



今年1月からテレビ電話システムの運用を開始

水道事業

簡易水道事業については、昨年度、事業の変更認可を受けた、雨川簡易水道の改良事業に着手しました。

なお、施設の老朽化、水量不足が生じている施設については、長期計画により順次整備を行う予定です。

次に、公共下水道事業については、横田地区大市地内の桐の木川周辺の管路工事を引き続き実施します。

農業集落排水事業については、平成二十年度で事業完了した馬木地区を含め、町内十一施設全ての集合処理施設が供用開始となりました。

今後は、完成した各施設の良好な維持管理と財政健全化を計ります。

また、「住環境リフォーム助成制度」等の活用を促進し、接続率の向上、経費軽減に努めます。

集合処理区域外の地域については、町が合併浄化槽を設置し、設置後も町管理とする施策を継続して実施することとしており、今年度は七十基を予定しています。

なお、合併後未調整となっていた、下水道使用料につ

ては、本年一月分から料金を統一しました。

公営住宅

三成滝の上町営住宅第一回地建て替えについても、今年度引き続き、一棟十二戸の建設並びに駐車場の整備を行います。

ごみ処理・資源の再利用

本町では、平成二十一年度から三十五年度まで十五カ年間のゴミ処理基本計画として、「奥出雲町一般廃棄物処理基本計画」改訂版を策定しました。

各家庭などから排出されるゴミの量は、年々減少傾向にあります。一人当たりの平均排出量は増加の傾向にあり、今後ゴミの減量化と資源としての有効活用を図ります。

また、本年は平成二十二年に計画している、最終処分場嵩上げ工事に向けた、実施設計に着手します。

地域のまちづくり

自治会の拠点となる集会所については、過疎債による補助制度や自主的な活動に対して「ふるさとづくり助成事業」

を継続して実施します。

公共交通

JR木次線全線の利用者は依然減少傾向にある中、トロッコ列車の運行については、年々利用客が増え、昨年は広島方面からの接続改善が図られ、年間を通しての乗車率は一〇五・一割と全国トップクラスともいえる乗車率を誇る列車に成長しました。

【島根県内過疎債・辺地債配分表】

奥出雲町は県内市町村の中で、最も多くの有利な起債(過疎債・辺地債)を活用し、道路改良、建設事業など、健全な財政運営に配慮しながら、多くの事業を行っています。

(単位:千円)					
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	計	3カ年平均
8市	604,600	266,200	300,000	1,170,800	390,267
	1,694,200	1,513,600	1,952,700	5,160,500	1,720,167
	1,760,300	1,235,200	879,200	3,874,700	1,291,567
	556,200	503,000	923,100	1,982,300	660,767
	1,048,500	1,329,600	2,204,400	4,582,500	1,527,500
	732,400	594,400	444,500	1,771,300	590,433
	694,000	548,000	284,400	1,526,400	508,800
奥出雲町	2,082,300	2,151,600	1,683,400	5,917,300	1,972,433
9町1村	2,067,100	2,522,700	2,103,300	6,693,100	2,231,033
	664,600	444,800	259,600	1,369,000	456,333
	56,200	55,800	60,600	172,600	57,533
	446,100	354,800	366,200	1,167,100	389,033
	1,525,500	925,300	990,100	3,440,900	1,146,967
	734,500	765,600	1,252,300	2,752,400	917,467
	401,600	355,200	402,700	1,159,500	386,500
	706,600	734,000	644,700	2,085,300	695,100
	309,600	663,900	320,400	1,293,900	431,300
102,100	246,900	31,900	380,900	126,967	
合計	17,639,900	17,511,600	15,790,800	50,942,300	16,980,767

上記の数値は配分額であり、実際の発行額とは異なります。



人気のトロッコ列車